

第50回 日本赤十字社医学学会総会



日本赤十字社医学学会
50th ANNIVERSARY

原点を見つめ 世界へ飛翔
～赤十字の果たすべき使命～

50th Kumamoto

- 49th Wakayama
- 48th Takamatsu
- 47th Fukui
- 46th Ishinomaki
- 45th Maebashi
- 44th Kushiro
- 43rd Oita
- 42nd Takatsuki
- 41st Matsue
- 40th Nagano
- 39th Akita
- 38th Yokohama
- 37th Asahikawa
- 36th Fukuoka
- 35th Kyoto Daini
- 34th Matsuyama
- 33rd Nagoya Daiichi
- 32nd Ishinomaki
- 31st Shizuoka
- 30th Kitami
- 29th Kumamoto
- 28th Otsu
- 27th Hiroshima
- 26th Fukui
- 25th Akita
- 24th Ashikaga
- 23rd Urakawa
- 22nd Nagasaki Genbaku
- 21st Osaka
- 20th Takamatsu
- 19th Nagoya Daini
- 18th Ishinomaki
- 17th Iryou Center
- 16th Asahikawa
- 15th Fukuoka
- 14th Kyoto Daiichi
- 13th Komatsushima
- 12th Nagoya Daiichi
- 11th Ishinomaki
- 10th Hamamatsu
- 9th Toyama
- 8th Omiya
- 7th Hiroshima
- 6th Musashino
- 5th Kyotodaini
- 4th Nagoya Daiichi
- 3rd Fukuoka
- 2nd Osaka
- 1st Chuo

参加のご案内

会期 2014年10月16日(木)・17日(金)

会場 市民会館崇城大学ホール・熊本市国際交流会館・一番館・熊本ホテルキャッスル

会長 一二三 倫郎 [熊本赤十字病院 院長]



©2010熊本県くまモン#11242

<http://jrcms50.umin.jp>



原点を見つめ 世界へ飛翔 ～赤十字の果たすべき使命～

第50回 日本赤十字社医学会総会
会 長 一 二 三 倫 郎
(熊本赤十字病院 院長)

赤十字創設から150年間途絶えぬ想い。ソルフェリーノの戦いで、そして西南戦争で先人たちが強く心に持ち続けた「敵味方の区別なく傷ついた人々を救いたい」という想い。世界中で受け継がれてきたこの想いのもと、赤十字としてどのような医療を行うべきか、世界中に赤十字の活動を、人道の輪を広めるために我々ができること、しなければならないことは何か。そのことを皆で考え知識と技術を高めるために開催されるようになったのが、この日本赤十字社医学会総会であると思っています。そして、記念すべき50回目の学会を日赤発祥の地とされる「熊本」で当院が担当させていただくことになりましたことは、大変感慨深く、また同時に日赤発祥の地における開催に相応しい学会にしなければならないという責務も感じております。

日赤発祥の地「熊本」で、赤十字の「原点」を振り返ると共に、これから日本や世界が直面する諸問題について、赤十字が果たすべき役割とは何か、それを皆さんと考え未来へ発信したいと思います。そのような視点から、「原点を見つめ 世界へ飛翔～赤十字の果たすべき使命～」をテーマといたしました。参加される皆さんにこの学会で先人の想いに触れ、何かを学び得、感じ、各施設の今後の赤十字活動に活かしていただくことで、私たちが掲げた目標を達成できるものと考えます。

そして、50回の開催を記念し、日本赤十字社医学会理事長である富田博樹事業局長に「日本赤十字社医学会の50年を紐解く(仮題)」と題するご講演をお願いしております。また、特別講演では、元東日本大震災復興構想会議議長を務められた五百旗頭真先生に、「大震災の時代に生きる」というテーマでご講演いただきます。さらに、シンポジウムは2題企画いたしました。1題目は、「災害の時代に人々の命を守るには?～赤十字はいかに協働すべきか～」というテーマのもと、東北大学石井正教授にこれまでの経験を踏まえた基調講演を頂き、赤十字が進むべき方向性を再確認したいと考えております。また、もう1題は、本社矢野真事業局技監に「臨床指標を用いた医療の質改善への取り組み～最良の医療を目指して～」というテーマで基調講演をお願いしており、赤十字グループ全体で最良な医療の提供ができるよう目指したいと思います。

いつの時代にも通ずることではありますが、今後予想される様々な事象や時代の求める変化に対して柔軟に対応できる感性を保ち、世界的視野で物事を考えることは極めて大切な事です。この学会が皆さん方にとりまして、より良い情報交換の場、次のステップに向けた新たな活力産出の場となりますことを切に願います。

秋の熊本は、馬刺しに熊本ラーメン、天草の新鮮な海の幸、阿蘇の清水で育った山の幸と美味しいものづくしです。阿蘇の雄大な自然と数多くの温泉郷、天草の美しい海と海岸線など観光名所も多く、日本三大名城の一つ、熊本城は会場に隣接しております。是非、この機会に足をお運びください。

たくさんの方々に、日赤発祥の地「熊本」の活力を、見て、感じていただけますよう、当院職員一同心よりお待ちしておりますので、皆さんどうぞ、熊本へお越しください。

1. メインテーマ

原点を見つめ 世界へ飛翔 ～赤十字の果たすべき使命～

2. 会 期

2014年10月16日(木)・17日(金)

3. 会 場

市民会館崇城大学ホール・熊本市国際交流会館・一番館・熊本ホテルキャッスル

4. 会 長

一 二 三 倫 郎 (熊本赤十字病院 院長)

5. プログラム

①50回特別記念講演：10月16日(木)

日本赤十字社医学会の50年を紐解く(仮題)

富田 博樹 氏 (日本赤十字社医学会理事長・日本赤十字社事業局長)

②特別講演Ⅰ：10月16日(木)

大震災の時代に生きる

五百旗頭 真 氏 (熊本県立大学理事長・元東日本大震災復興構想会議議長)

③特別講演Ⅱ：10月16日(木)

鳥越 俊太郎 氏 (ジャーナリスト) 予定

④シンポジウム

10月16日(木)

災害の時代に人々の命を守るには？～赤十字はいかに協働すべきか～

石井 正 氏 (東北大学病院 総合地域医療教育支援部 教授) 他

10月17日(金)

臨床指標を用いた医療の質改善への取り組み～最良の医療を目指して～

矢野 真 氏 (日本赤十字社事業局技監) 他

⑤要 望 演 題：10月16日(木)・17日(金)

⑥一 般 演 題：10月16日(木)・17日(金)

⑦ポスター発表：10月16日(木)・17日(金)

⑧診療現場における用具の工夫作品展：10月16日(木)・17日(金)

⑨ランチョンセミナー：10月16日(木)

⑩医 療 人 の 集 い：10月16日(木)

会 場／熊本ホテルキャッスル

6. 学会ホームページ

<http://jrcms50.umin.jp>

要望演題、一般演題、ポスター発表、診療現場における用具の工夫作品展募集

演題は、医療及び赤十字事業に関する事項とします。下記規定を熟読のうえ、多数の応募をお待ちしております。

◆演題登録方法（要望演題、一般演題、ポスター発表、診療現場における用具の工夫作品展）

インターネットによるオンライン登録とします。

第50回日本赤十字社医学会総会ホームページ

<http://jrcms50.umin.jp>

◆応募資格

発表者は、日本赤十字社に勤務する職員に限ります。

◆登録受付期間

2014年4月3日（木）～5月23日（金）

※締切日直前は、登録や修正が殺到し、アクセスしにくい場合があります。十分に余裕をもった登録をお勧めいたします。

◆発表形式

①口頭発表（要望演題、一般演題）

- 発表5分・質疑応答3分。

分 類	口演時間
要望演題・一般演題	発表：5分、質疑応答：3分

- 液晶プロジェクターを用いたデジタルプレゼンテーション(1面)のみとなります。
- 発表データはUSBメモリー、CD-Rでお持ちください。
CD-Rでお持ちいただく場合は、必ずファイナライズされた状態でご持参ください。
尚、万一のトラブルに備え、バックアップデータを記録したメディアをご用意ください。
- 発表用のパソコンは事務局で準備いたします。
- 発表用パソコンのOSとアプリケーションは以下のとおりとなります。発表者の方は、Power Point 2003以降のバージョンで作成されますようお願いいたします。

OS	アプリケーション
Windows7	Windows版 Microsoft PowerPoint2003/2007/2010

- フォントは文字化けを防ぐため下記のフォントにて作成してください。

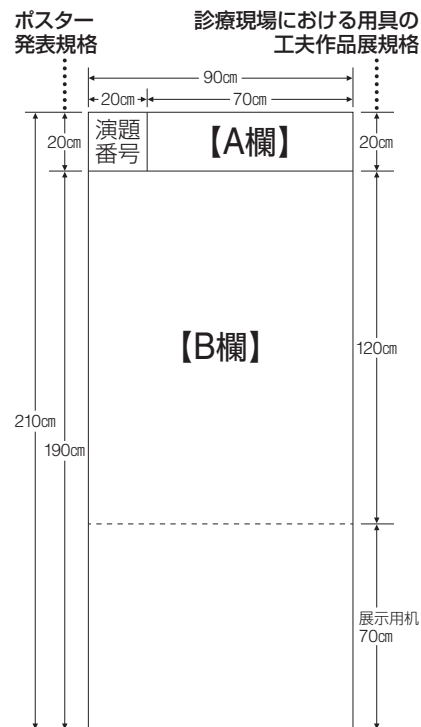
日本語	MSゴシック、MSPゴシック、MS明朝、MSP明朝
英語	Arial, Arial Black, Century, Century Gothic, Times New Roman

- 画面の解像度はXGA(1024×768ピクセル)です。
- ノートパソコン持ち込みの場合、モニター出力端子にMini-D-Sub15pin3列コネクタ（通常のモニター端子）が装備されているものに限り。タブレット端末での発表はご遠慮ください。
- 動画、音声は原則として禁止とします。動画のリンクがある場合やMacintoshで作成したデータをご使用の場合は、ご自身のPCを持参ください。なお、お持ち込みのメディアは最新のウイルス駆除ソフトで事前にウイルスチェックを行ってからお持ちください。
- 発表時のPC操作は、ご自身で行っていただきます。

※口頭発表にご登録いただいた場合でもポスター発表へ変更となる場合がありますので、予めご承知おきください。

②ポスター発表（一般演題）

- 発表は、ポスター発表のみとなります。
- 発表時間は、一題につき4分、質疑応答2分程度とします（応募演題数により発表時間は調整します）。
- ポスターは、縦210cm×横90cmとし、右図の規格とします。
※演題番号は事務局で用意します。
A欄に演題名、所属、氏名を掲示し、
B欄に発表演題内容（紙出力）を掲示してください。
※応募演題数等により口頭発表へ変更となる場合がありますので、
予めご承知おきください。



③診療現場における用具の工夫作品展

- 展示および発表となります。
- 展示および発表を希望される場合の発表時間は、一題につき4分、質疑応答2分程度とします（応募演題数により発表時間は調整します）。
- 必要に応じて用具説明書（A4サイズ）をご準備下さい。
- 説明書のポスターは縦120cm×横90cmとし、右図の規格とします。
※演題番号と展示用机は事務局で用意します。
A欄に演題名、所属、氏名を掲示し、
B欄に発表演題内容（紙出力）を掲示してください。

※なお、①、②、③いずれも最終的な発表形式の決定については、会長にご一任下さい。

◆抄録について

- 著者名、所属機関名、演題名（全角36文字以内）を含めて抄録本文が全角800文字以内となるようにしてください。

演題名の文字数	抄録本文の文字数
全角36文字以内	著者名、所属機関名、演題名（全角36文字以内）を含めて全角800文字以内

- 図表を挿入せずに、文章のみで作成してください。
- 演題登録時は演題分類コードNo.を選択してください。（要望演題、一般演題、ポスター発表のみ）
- 抄録本文は、登録を始める前にMicrosoft Wordなどのワープロソフトで作成し、ご自身のパソコンに保管しておくことをお勧めします。

◆発表の注意点

- 患者さん及び関係者からのインフォームド・コンセントを確実に得たうえで、個人情報には十分に留意してください。

◆パスワードと演題登録番号

- 演題を登録する際、登録者自身で任意のパスワードをお決めいただきます。登録完了後に付与される登録番号とご自身でお決めいただいたパスワードにより、登録期間中に確認・修正・削除が可能となります。
- ※登録番号とパスワードはご自身で控え、厳重に管理してください。
- 演題登録が終了すると演題登録システムから登録完了の自動返信メールが届きます。登録完了メール受信をもって演題登録の完了となります。
- 登録番号およびパスワードは、演題登録者の管理に依存します。パスワードの紛失などのトラブルに対して事務局では一切の情報提供ができませんので十分ご注意ください。

◆オンラインによる演題登録の注意事項

- オンライン演題登録システムでは、Internet Explorer、Netscape、Safari [ver.2.0.3(417.92)以降]、FireFoxで動作確認を行っております。それ以外のブラウザはご利用にならないようお願いいたします。
- 登録の際は、原則として暗号通信をご利用ください。平文通信では第三者による情報漏洩の恐れがあります。平文通信は暗号通信が使えない場合(施設の設備的問題やブラウザが古い場合)に限ってご使用ください。

◆登録演題の採否および発表通知について

- 7月中旬に演題登録時に登録されたE-mailアドレスにご連絡(メールにて)いたします。また、第50回日本赤十字社医学会総会ホームページ上でもご案内を予定しております。

◆その他

- ご登録いただいた個人情報は本学会の運営に関わる事項以外では使用いたしません。
(下記学術誌への掲載を除く)
- 応募演題の中から優秀な演題(座長推薦、学会長推薦)を学術誌「日赤医学」に掲載いたします。

◆お問合せ先(第50回日本赤十字社医学会総会 運営事務局)

学会サポートセンター熊本(株式会社コンベンションサポート九州)

〒860-0801 熊本市中央区安政町8-16 村瀬海運ビル6F

TEL : 096-212-3161 FAX : 096-212-3163

E-mail : jrcms50@higo.co.jp

演 題 の 分 類

The Japanese Red Cross Medical Society

日赤医学会の傾向としましては、参加数は例年増加しておりますが、職種別に見ると医師の参加が少ないのが現状です。その現状を踏まえ、近年の日赤学会では医師の参加を促す取り組みが行われております。

今回はその取り組みを発展させるため、下記テーマを要望演題とするセッションを企画いたしました。

赤十字の職員同士で各施設が抱える問題やその解決策などを共有し合い、同時に人脈形成を図って、ぜひ今後の赤十字医療に活かして頂きたいと思いますので、職種に関わらずできるだけ多くの皆さんの演題発表とご参加をお待ちしております。

演題分類コードNo.

演題募集にあたり、下記の演題分類コードを設定いたしました。ご登録の際は、演題登録システムにて下記演題分類コードの選択をお願いいたします。（要望演題）

【要望演題(口頭発表のみ)】※公募・一部指定

No.	群(部門)・詳細
1	日赤の総合診療 – “今”と“目指すもの” – 総合診療が意味するものは、施設や考え方で様々な幅がある。この中で“日赤の総合診療”とは何かを考えていく必要がある。現在、総合診療にすでに取り組まれている施設に現状と展望をお話頂き、今後の日赤の総合診療のあり方、またその養成の仕方をこれから総合診療に取り組む施設も含めて議論していきたい。
2	本音で語ろう、戦傷外科 ※指定のみ 戦傷外科は感染との戦いであり、かつ医療資材が乏しい環境で創傷治療を促進させなければならない。野生動物がけがをしたとき、動物は自然治癒力に頼るしかない。人類も同じ現象が備わっているはずで、いかに現代医療が進歩しようと、その現象を無視した医療は創傷治療を遅らせるだけである。この視点に立つとき、戦傷外科は創傷治療において何が問題の本質かを教えてくれる領域である。症例を提示しながら本音で会場と討論したい。
3	ロボット支援手術 ロボット支援手術は、鏡視下手術の精度をさらに上げることが可能な手術として次第に普及してきている。2012年4月に前立腺癌に対する前立腺全摘出術が保険収載されたこともあり、赤十字病院においても前立腺全摘術を中心に導入が進みつつある。また、現時点では保険収載されていないが、今後は消化器外科領域や婦人科領域へも広まると予想されている。ロボット支援手術に関する取り組み、実績、展望あるいは問題点等について、多職種の皆さんに発表いただき、既に導入済みの施設や今後導入を検討している施設に役立つ討論を行いたいと考えている。
4	鏡視下手術の現状と展望 鏡視下手術は低侵襲で早期の回復が見込めることから、急速に普及している。しかし、新しい手技を安全かつ質を保ちながら導入するためには、いかにして技術や知識を習得し、スタッフ教育を行っていくかが重要な課題である。各分野での最新の鏡視下手術手技、技術習得や教育に関する取り組みなどについて発表いただき、職種や診療科の枠を越えて、赤十字病院全体のレベルアップに寄与できるような討論としたい。
5	JRC産婦人科連絡協議会 –アンケート調査から見える産婦人科診療の現状と課題– 産婦人科領域では、赤十字病院間における情報交換の場として、平成22年、JRC産婦人科連絡協議会を立ち上げ、その輪は徐々に広がっている。本会では、毎年行われるアンケート調査に基づき、現状の把握、問題点の検討、将来の展望について意見交換を行っている。今回は、全国の、より多くの施設から参加を募り、まず、基調講演として、JRC産婦人科連絡協議会によるアンケート調査の報告を行う。さらに、マンパワーを含めた診療体制、緊急時の対応、小児科や麻酔科など他科との連携、研修医教育や研究活動などを通じた人材育成などをテーマに、それぞれの病院が抱えている課題や、課題に対する取り組みを紹介していただき、活発な意見交換を行うことにより、病院間の連携の強化に繋がることを期待している。
6	脳卒中医療の現状 ～地域医療を支える赤十字病院～ 熊本の脳卒中地域医療連携は、「地域完結型脳卒中診療」として、着実に進化しつつある。急性期治療とリハビリの継続を理念として行なっている、「熊本型脳卒中連携パス」について紹介する。また、全国赤十字病院の脳卒中医療についてアンケートを用い、その結果についてディスカッションをおこなう。さらに、今後全国赤十字病院間での脳卒中診療における「病院間連携」の可能性についても模索したい。
7	整形外科をとりまく諸問題 –日赤間の連携で解決する試み– ※指定のみ 日赤のスケールメリットを活かし、人事交流、研修医獲得、整形外科医教育、当直後の手術等の労働環境などを話し合う日赤整形外科部長会を立ち上げ、日赤医学会で一同に会し議論したい。
8	チーム医療(内視鏡治療) 今回はチーム医療の中でも「内視鏡治療」をテーマに取り上げ、より安全で効率的な内視鏡部門の運用を目指す目的で、医師のみならず看護師、コ・メディカルも含めたチーム医療として、より良い運用法のアイディアを共有できる場としたい。（多職種からの発表を募集）

演 題 の 分 類

The Japanese Red Cross Medical Society

演題分類コードNo.

演題募集にあたり、下記の演題分類コードを設定いたしました。ご登録の際は、演題登録システムにて下記演題分類コードの選択をお願いいたします。(一般演題、ポスター発表)

【一般演題(口頭発表またはポスター発表)】※公募

No.	群(部門)
1	国内外救援・救護活動
2	医療の質(臨床指標を含む)
3	地域連携・へき地医療(地域医療を含む)
4	チーム医療
5	病院運営(経営改善、診療報酬、病歴管理を含む)
6	医療安全(安全管理・対策・教育、感染管理を含む)
7	診療支援
8	人材育成(臨床研修、教育、研修)
9	がん診療
10	生体腎移植
11	退院調整・退院支援
12	内分泌・代謝内科
13	リウマチ・膠原病
14	感染症内科
15	腎臓内科
16	呼吸器内科
17	消化器内科
18	循環器内科
19	血液内科
20	精神科(心療内科含む)
21	神経内科
22	脳神経外科
23	脳死下臓器提供
24	整形外科
25	形成外科
26	皮膚科
27	小児科
28	小児外科
29	外科(肝・胆・膵)

No.	群(部門)
30	外科(乳腺・内分泌)
31	外科(消化管)
32	外科(呼吸器)
33	産婦人科
34	心臓血管外科
35	眼科
36	耳鼻咽喉科
37	リハビリテーション科
38	歯科・歯科口腔外科
39	麻酔科
40	放射線科
41	放射線技術部門
42	救急部門
43	検査部門・病理部門
44	臨床工学部門
45	薬剤部門
46	急性期看護
47	ヘルスプロモーション(母性・小児・地域看護・予防活動など)
48	慢性期看護
49	精神看護
50	在宅看護
51	看護教育
52	看護管理
53	管理部門
54	医療情報
55	栄養・給食部門
56	患者サービス
57	健診(検診)部門
58	その他

「総合診療医 ドクター CROSS」(研修医症例検討会) 開催

テレビでおなじみ「総合診療医 ドクター G」に倣い、本医学会にて「ドクター CROSS」を企画いたしました。

これまで行われていた研修医による症例発表のスタイルを一新。

筑波大学附属病院 水戸地域医療教育センター 教授の徳田安春先生を講師に、全国赤十字病院研修医のみなさんに参加していただき、白熱した症例検討会を目指します。各施設応援隊を含む複数名の研修医で構成されたチームで参加していただき、代表者3名までがステージに上がって、徳田先生から提示された症例のProblem solvingを行うというスタイルです。

症例検討会終了後は、徳田先生と参加者全員で意見交換会を開催します。

この機会にぜひ、徳田先生から総合診療医としてのノウハウを伝授していただきましょう！たくさんの研修医のみなさんのご参加をお待ちしております。



とくだ やすはる
徳田 安春 医師
(筑波大学附属病院
水戸地域医療教育センター 教授)

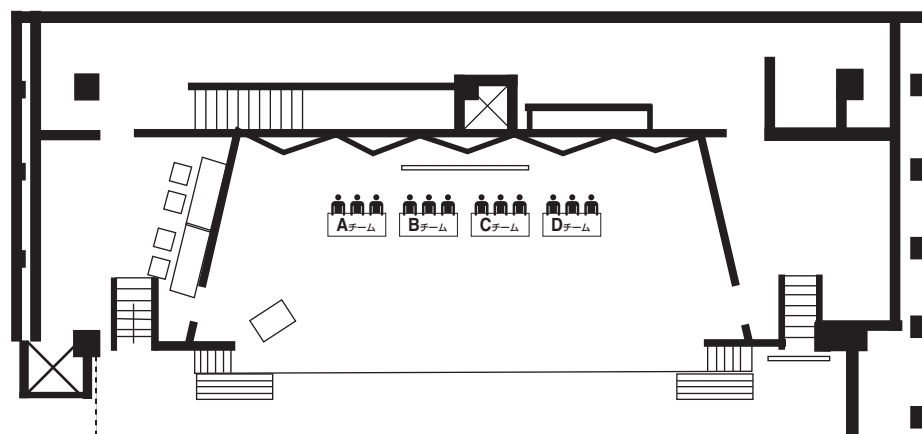
【専門診療領域】
総合診療科

【認定資格】
日本内科学会認定総合内科専門医
米国内科学会フェロー (FACP)
公衆衛生博士号 (MPH)

開催日	2014年10月16日(木) 11:00~13:00
申込み方法	学会ホームページ「総合診療医 ドクター CROSS」申込み画面からアクセスしてください。

- 参加された研修医(聴講のみでも可)には、「ドクター CROSS」参加証明書を発行いたします。研修医の方は、応援隊または聴講のみの場合も必ず申込みを行ってください。(申込みを行っていない方には、「ドクター CROSS」参加証明書の発行できません)
- ステージの都合により、参加チーム多数の場合は抽選とさせていただきます。抽選に漏れた場合も聴講のみとなりますが参加は可能です。
- 研修医以外の方の参加は聴講のみとし、「ドクター CROSS」参加証明書の発行はありません。
- 症例検討会終了後の意見交換会は、ランチタイムミーティング形式で行います。当日、ランチョンセミナーチケット配布所にてお弁当チケットを配布いたします。(数量限定。研修医優先とさせていただきます)

※集え研修医にご参加の方は、医学会総会への参加登録も必要です。



参加登録

The Japanese Red Cross Medical Society

1. 医学会総会事前参加登録方法（※事前登録にご協力ください）

医学会総会参加を希望される方は、演題応募の有無に関係なく、ホームページよりオンライン事前参加登録を行ってください。
なお、登録は施設単位でのお取りまとめによる団体申込にご協力ください。

第50回日本赤十字社医学会総会ホームページ <http://jrcms50.umin.jp>

1) 事前参加登録受付期間

2014年4月24日(木)～8月14日(木)

2) 事前参加登録方法

- ①学会ホームページ <http://jrcms50.umin.jp> から参加登録ページにお進みください。
- ②申込担当者のお名前・ご所属・ご連絡先等の必須項目をご登録ください。
- ③参加者のお名前・参加区分等を人数分入力してください。なお、「申込担当者」が参加される場合は、申込担当者も「参加者登録」が必要です。
- ④登録完了画面に「受付番号」が表示されます。「受付番号」は参加費振込時に必要となりますので、メモ等にお控えください。なお、登録のE-mailアドレスに「受付番号」等を記載した「事前参加登録完了」メールが届きます。
登録完了後30分が経過してもメールが届かない場合は、運営事務局までお問合せください。
- ⑤受付期間中、所属・住所などの変更はオンラインにて可能です。
- ⑥オンラインでの事前参加登録ができない方は、運営事務局までお問合せください。

3) 申込先（窓口） 第50回日本赤十字社医学会総会 運営事務局

学会サポートセンター熊本(株式会社コンベンションサポート九州)

〒860-0801 熊本市中央区安政町8-16 村瀬海運ビル6F

TEL：096-212-3161 FAX：096-212-3163 E-mail：jrcms50@higo.co.jp

2. 参加費

学会参加費	医療人の集い	入金締切日
10,000円	3,000円	2014年8月20日(水)

・振込口座

銀行名	肥後銀行(ヒゴギンコウ)	支店名	水道町支店(スイドウチョウシテン)	金融機関コード	0182
口座名	第50回日本赤十字社医学会総会 会長 一二三 倫郎			店番号	152
カナ	ダイゴジユツカイニツボンセキジユウジシヤイガクカイソウカイ カイチヨウ ヒフミ ミチオ			口座番号	2697479

- 1) オンライン事前参加登録完了後に、上記指定口座へお振込みください。
- 2) 振込依頼人名の前に受付番号を入力してください。受付番号は登録完了画面およびオンライン事前参加登録完了メールに記載されております。
- 3) 振込依頼人名は、オンライン事前参加登録をされたご本人のお名前、団体登録の場合には申込担当者のお名前にてお手続きください。受付番号が入力できない場合、やむを得ず別の振込依頼人名で入金する場合は、運営事務局までE-mailまたはFAX等の書面にてご連絡ください。お電話でのご連絡はお控えください。
- 4) 個人と団体での重複登録や、二重振込をしないようご注意ください。

3. 生涯教育(研修)認定制度

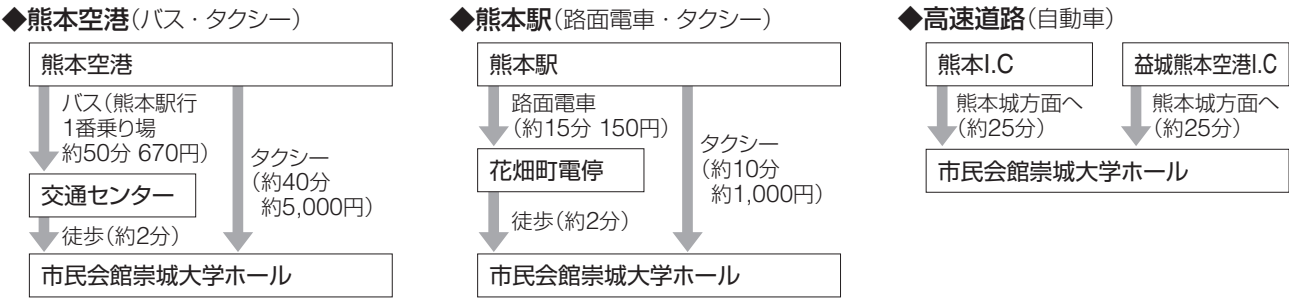
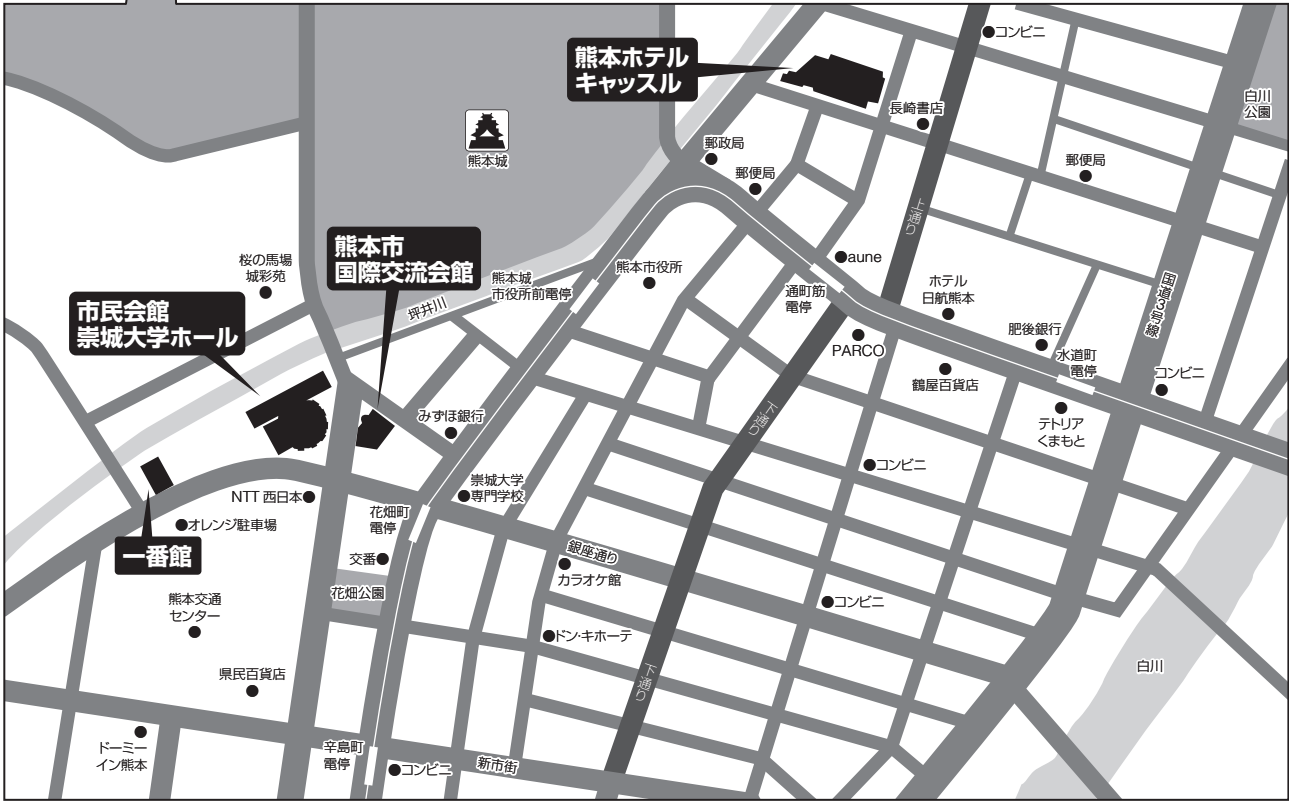
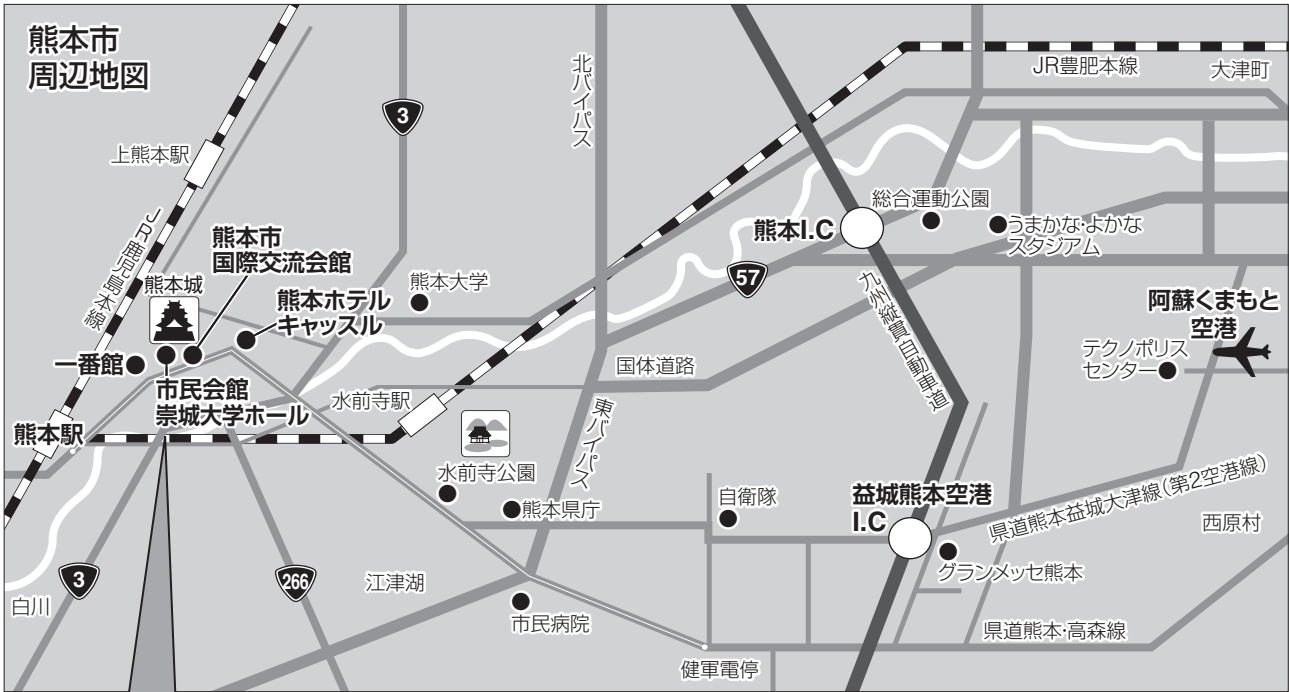
- 1)「日本医師会生涯教育認定制度」「日本歯科医師会生涯研修事業制度」「日本薬剤師研修センター認定制度」について申請中ですので、学会ホームページをご覧ください。
- 2) 本医学会総会への参加等により、日本看護協会認定看護師制度におけるポイントの申請が可能です。

4. 抄録集及びネームカード

入金確認後、オンライン事前参加登録を申し込まれた「ご本人」もしくは団体申込の場合には「申込担当者」へ9月下旬頃に郵送いたします。

会場へのアクセス・周辺案内

The Japanese Red Cross Medical Society



アフターコンベンション(ツアー)のご案内

The Japanese Red Cross Medical Society

参加登録お申込み完了画面から「アフターコンベンション(ツアー)申込」ボタンをクリックして、以下の流れで予約を行ってください。なお、申込を参加登録時以降に行われる場合は、「参加登録確認メール」に「アフターコンベンション(ツアー)申込」画面へのURLを記載しておりますので、そちらからご登録ください。

◆予約期間

2014年**4月24日** 木 ~ **8月14日** 木

登録ステップ	内 容
①アフターコンベンション(ツアー) 予約	予約は先着順となりますので、お早めにお申し込みください。
②確認メール返信	通知メールが自動返信され、登録・予約完了
③変更・取消	『アフターコンベンション(ツアー) 登録事務局』へFAX 又はE-mailにてご連絡ください。
④お支払い方法	事前銀行振込

◆アフターコンベンション(ツアー) 予約の注意点

- 1) アフターコンベンション(ツアー) 予約の受付は2014年8月14日(木)までです。それ以降は『アフターコンベンション(ツアー) 問い合わせ先』へFAX 又はEメールにて、変更・取り消し内容をご連絡ください。
- 2) 変更・取り消しにより返金が生じた場合は、大会終了後2週間以内にご指定の銀行口座へお振込みさせていただきます。

3) アフターコンベンション(ツアー) 取消料

取消料区分 取 消 料	21日前	20日～8日前	7日～2日前	前 日	当 日	当日無連絡による不泊の場合
ツアー(1泊)	無 料	旅行代金の20%	旅行代金の30%	旅行代金の40%	旅行代金の50%	旅行代金の100%
取消料区分 取 消 料	11日前	10日～8日前	7日～2日前	前 日	当 日	当日無連絡による不参加の場合
ツアー(日帰り)	無 料	旅行代金の20%	旅行代金の30%	旅行代金の40%	旅行代金の50%	旅行代金の100%

※取り消し日は、ご利用開始日の前日から起算とします。(アフターコンベンション(ツアー) 出発日等)

※取り消しのお申し出が、営業時間外の場合は、翌営業日が取り消し日となります。

- 5) 予約に関する条件は、ご旅行条件(募集企画旅行契約)にて必ずご確認ください。

◆アフターコンベンション(ツアー) に関するお問い合わせ先

有限会社学会旅行センター熊本

第50回 日本赤十字社医学会総会 担当：開(ひらき)

〒860-0811 熊本市中央区本荘 1-1-1 熊本大学医学部附属病院内

TEL：096-363-0865 FAX：096-363-0867 E-mail：tabi@higo.co.jp

営業時間：10：00～17：00 (※土・日・祝日休業)

アフターコンベンションのご案内

一泊コース 1泊2日

イタリアは遠いけど…

日赤発祥の地「日本のソルフェリーノ 田原坂を訪ねて」 「のんびり南阿蘇村一泊の旅」

【催行日】平成26年10月17日（金）～18日（土）

【添乗員】同行します

【最少催行人員】25名 募集人数40名

【旅行代金】1名1室 23,000円、2名1室 22,500円、3名1室 22,000円（いずれも税込）

※4名様以上でご参加の場合はご相談ください

10/17（金）

市民会館 12:15 == ◎ジェーンズ邸 12:35 == 車内にて昼食 13:15 == ○田原坂公園 13:15 == ◎田原坂資料館 14:05
== ○豊岡眼鏡橋 == ○正念寺・日赤史跡群訪問 16:05 == アソシエート（日本赤十字社九州ブロック研修センター） 18:00
（食事 朝：一、昼：○、夕：○）

10/18（土）

アソシエート 9:00 == 阿蘇吉田口登山道 == 阿蘇ロープウェイ 9:50 == ○阿蘇火口 == ○草千里
== ◎阿蘇ファームランド（昼食） == ◎葉祥明阿蘇高原絵本美術館 14:30 == 熊本空港 15:45 == 熊本駅 16:30
（食事 朝：○、昼：○、夕：一）

（※バス == 、ロープウェイ =====、◎入場観光、○下車観光）

◆昼食予定 1日目：バス車内にて官軍めし 2日目：阿蘇ファームランドにて

◆費用に含まれるもの：宿泊代、バス代、駐車場代、行程中に記載の食事代及び観光費用

◆費用に含まれないもの：飲物代など個人的性格の費用

とくとく 半日コース 日帰り

日赤発祥の地「日本のソルフェリーノ 田原坂を訪ねて」

【催行日】平成26年10月17日（金）

【添乗員】同行します

【最少催行人員】25名 募集人数40名

【旅行代金】6,000円（大人お一人様、税込）

10/17（金）

市民会館 12:15 == ◎ジェーンズ邸 12:35 == 車内にて昼食 13:15 == ○田原坂公園 13:15 == ◎田原坂資料館 14:05
== ○豊岡眼鏡橋 == ○正念寺・日赤史跡群訪問 16:05 == 交通センター 17:30 == 熊本駅 17:50
（食事 朝：一、昼：○、夕：一）

（※バス == 、ロープウェイ =====、◎入場観光、○下車観光）

◆昼食予定 バス車内にて官軍めし

◆費用に含まれるもの：バス代、駐車場代、行程中に記載の食事代及び観光費用

◆費用に含まれないもの：飲物代など個人的性格の費用



● 熊本洋学校教師館 ジェーンズ邸 ●

日本赤十字社の創設者とされる佐野常民氏が博愛社設立の請願をし、許可を得た日本赤十字社誕生の原点とも言える歴史的場所を訪ねます。「日赤記念館」と称されるこの建物は、明治4年に建設された熊本で最古の西洋建築物で、当時の風景がそのまま残されています。

敷地内には日赤創設100周年を記念した「愛とこしえに」のモニュメントがあり、文豪 夏目漱石の住居が隣接しています。

● 官軍飯（昼食） ●

昼食には、西南戦争当時、官軍兵士が食したと記録されているお弁当をご賞味いただきます。一合のご飯に梅干しや味噌を入れておにぎりにした「団飯（だんぱん）」がメイン。記録によると当時は米2合だったそうです。



● 田原坂公園 ●

1877年（明治10年）に起こった西南戦争最大の激戦地、「田原坂」の頂上にある公園を訪れます。救護の甲斐なく亡くなった方を含む、官軍、薩軍の戦没者約1万4千人の名前が刻まれた慰霊碑や砲弾の跡が生々しく残る弾痕の家（復元）があります。色々な意味で日本の「ソルフェリーノ」と呼ばれる日赤発祥の地に想いを馳せてはいかがでしょうか。



● 田原坂資料館 ●

両軍合わせた負傷者は1日に600万～1千万人とも言われる、西南戦争の激戦を物語る多くの資料や日赤縁の品々が展示されている資料館をご覧ください。

人間を人間として救おうと人道的活動を始めた先人たちの想いを、ぜひ感じてください。



● 豊岡眼鏡橋 ●

西南戦争で田原坂攻撃の最前線拠点となった眼鏡橋をご覧ください。

橋の袂の窪地には、早朝、息をこらして突撃の合図を待つ兵士が、銃をにぎりしめて待機していたと記されています。1802年に架橋された、熊本県で最古の石橋です。



● 正念寺・日赤史跡群 ●

西南戦争激戦の第一次的救護所となった「正念寺」。

当時負傷した多くの兵士を収容し、治療した病院跡などを巡ります。

日赤発祥の地とされる山門は、平成25年3月、国史跡に指定されました。

● 阿蘇火口～草千里（※一泊コースのみ） ●

1泊コースの2日目は、雄大な阿蘇の自然をご堪能ください。

世界一のカルデラと雄大な外輪山を持つ阿蘇山。火口まではロープウェイで上ることができます。

カルデラの内側には、標高1,000mクラスの中岳、高岳、根子岳、杵島岳、烏帽子岳が並び、阿蘇五岳と総称されています。

また、阿蘇草千里ヶ浜は烏帽子岳中腹に広がる草原で、阿蘇の代表的な景観です。



宿泊のご案内

The Japanese Red Cross Medical Society

学会ホームページ内「宿泊申込」ボタンをクリックして、以下の流れで予約を行ってください。予約は施設単位でも行えます。
なお、お得な航空券＋宿泊パックもホームページにてご案内いたします。

◆予約期間

2014年4月24日(木)～9月16日(火)

登録ステップ	内 容
①宿泊予約	予約は先着順となりますので、お早めにお申し込みください。
②確認メール返信	通知メールが自動返信され、登録・予約完了後、3日以内に確認書がメールで届きます。
③変更・取消	『宿泊登録事務局』へFAX 又はE-mailにてご連絡ください。
④お支払い方法	宿 泊……事前送金が必要ございません、宿泊確認書をホテルフロントにご呈示の上、 直接現地にてご精算ください。(現金・クレジットカード) パッケージツアー…事前銀行振込

◆宿泊予約の注意点

- 1) 宿泊に関して、直接ホテルへの申込はご遠慮ください。
- 2) 宿泊予約の受付は2014年9月16日(火)までです。それ以降は『宿泊問い合わせ先』へFAX又はEメールにて、変更・取り消し内容をご連絡ください。
- 3) 変更・取り消しにより返金が生じた場合は、大会終了後2週間以内にご指定の銀行口座へお振込みさせていただきます。
- 4) 宿泊取消料

取消料区分 取 消 料	21日前	20日～8日前	7日～2日前	前 日	当 日	当日無連絡に よる不泊の場合
宿 泊	無 料	旅行代金の20%	旅行代金の30%	旅行代金の40%	旅行代金の50%	旅行代金の100%

※取り消し日は、ご利用開始日の前日から起算とします。(宿泊日等)

※取り消しのお申し出が、営業時間外の場合は、翌営業日が取り消し日となります。

- 5) 予約に関する条件は、ご旅行条件(募集企画旅行契約)にて必ずご確認ください。

◆宿泊に関するお問い合わせ先

有限会社学会旅行センター熊本

第50回 日本赤十字社医学会総会 担当：開(ひらき)

〒860-0811 熊本市中央区本荘1-1-1 熊本大学医学部附属病院内

TEL：096-363-0865 FAX：096-363-0867 E-mail：tabi@higo.co.jp

営業時間：10：00～17：00(※土・日・祝日休業)

宿泊のご案内

The Japanese Red Cross Medical Society

◎宿泊について

宿泊を下記の通りご用意しております。希望者多数の場合は別の地区、ホテル、部屋タイプに変更させていただく場合もございます。また、各施設単位で同宿をご希望の場合でも、分宿させていただく場合もございますので、予めご了承ください。

宿泊設定日	旅行代金
2014年 10月15日 水・ 16日 木の2日間	お一人様1泊朝食付(税・サービス料込)

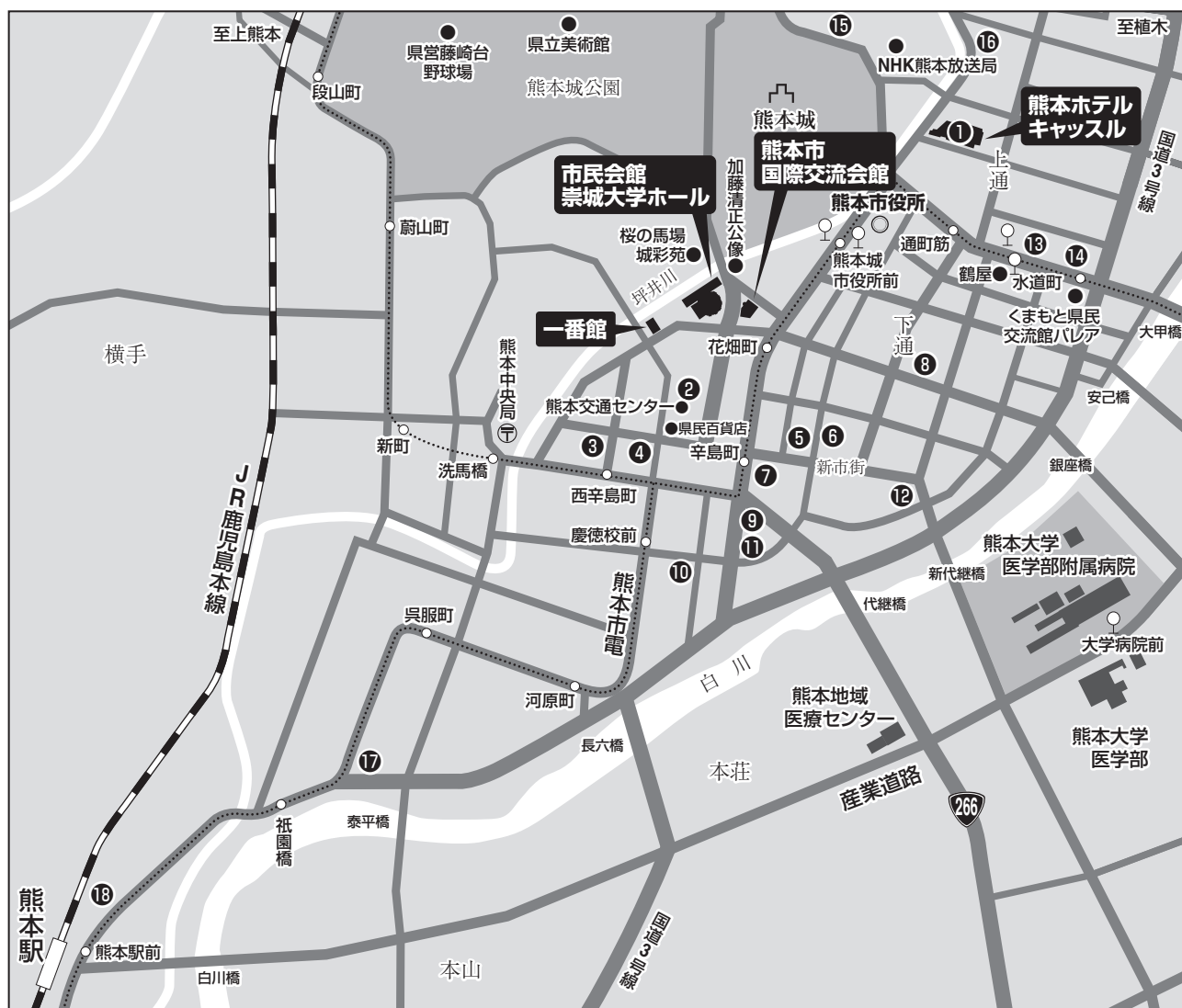
◆熊本市内および周辺地区

地区名	地図番号	ホテル名	部屋タイプ	旅行代金(お一人様)	市民会館崇城大学ホールまでのアクセス
熊本地区	①	熊本ホテルキャッスル	シングル(1名1室)	(エコノミー) 10,000円 (スタンダード) 11,500円	徒歩約9分
	②	熊本交通センターホテル	シングル(1名1室)	7,800円	徒歩約2分
	③	ネストホテル熊本	シングル(1名1室)	7,500円	徒歩約5分
	④	ドーミーイン熊本	シングル(1名1室)	9,800円	徒歩約5分
	⑤	コンフォートホテル熊本新市街	シングル(1名1室)	7,800円	徒歩約5分
	⑥	東横イン熊本新市街	シングル(1名1室)	6,156円	徒歩約5分
	⑦	熊本東急イン	シングル(1名1室)	7,800円	徒歩約5分
	⑧	ホテルサンルート熊本	シングル(1名1室)	8,400円	徒歩約5分
	⑨	東横イン熊本交通センター前	シングル(1名1室)	5,184円	徒歩約7分
	⑩	アパホテル熊本交通センター南	シングル(1名1室)	7,300円	徒歩約8分
	⑪	三井ガーデンホテル熊本	シングル(1名1室)	8,100円	徒歩約9分
	⑫	熊本ワシントンホテルプラザ	シングル(1名1室)	8,290円	徒歩約9分
	⑬	ホテル日航熊本	シングル(1名1室)	14,000円	徒歩約11分
	⑭	東横イン熊本城通町筋	シングル(1名1室)	6,156円	徒歩約11分
	⑮	KKRホテル熊本	シングル(1名1室)	7,800円	徒歩約12分
	⑯	アークホテル熊本城前	シングル(1名1室)	8,000円	徒歩約13分
	⑰	熊本全日空ホテルニュースカイ	シングル(1名1室)	10,800円	路面電車約15分
	⑱	ホテルニューオータニ熊本	シングル(1名1室)	11,880円	路面電車約17分

※予約は学会ホームページ内、宿泊・ツアー申込サイトにて先着順となりますので、お早めにお申込みください。

ホテル周辺MAP

The Japanese Red Cross Medical Society



地図番号	ホテル名
①	熊本ホテルキャッスル
②	熊本交通センターホテル
③	ネストホテル熊本
④	ドーミーイン熊本
⑤	コンフォートホテル熊本新市街
⑥	東横イン熊本新市街
⑦	熊本東急イン
⑧	ホテルサンルート熊本
⑨	東横イン熊本交通センター前

地図番号	ホテル名
⑩	アパホテル熊本交通センター南
⑪	三井ガーデンホテル熊本
⑫	熊本ワシントンホテルプラザ
⑬	ホテル日航熊本
⑭	東横イン熊本城通町筋
⑮	KKRホテル熊本
⑯	アークホテル熊本城前
⑰	熊本全日空ホテルニュースカイ
⑱	ホテルニューオータニ熊本



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

担 当：九州ブロック

会 長：一二三 倫郎（熊本赤十字病院 院長）

本 部 事 務 局：熊本赤十字病院 診療支援課

〒861-8520 熊本市東区長嶺南二丁目1番1号

TEL：096-384-2111 FAX：096-384-8862

学会ホームページ：http://jrcms50.umin.jp

運営事務局E-mail：jrcms50@higo.co.jp

発 行 日：2014年4月1日

編 集・発 行：第50回 日本赤十字社医学会総会

本学会に関するお問い合わせは、下記運営事務局までお願いいたします。

第50回 日本赤十字社医学会総会 運営事務局

学会サポートセンター熊本（株式会社コンベンションサポート九州）

〒860-0801 熊本市中央区安政町8-16 村瀬海運ビル6F

TEL：096-212-3161 FAX：096-212-3163

E-mail：jrcms50@higo.co.jp